

➤ 9日 水曜

ルカ



20:1 イエスは宮で民衆を教え、福音を宣べ伝えておられたが、ある日、祭司長、律法学者たちが、長老たちといっしょにイエスに立ち向かって、

20:2 イエスに言った。「何の権威によって、これらのことをしておられるのですか。あなたにその権威を授けたのはだれですか。それを教えてください。」

20:3 そこで答えて言われた。「わたしも一言尋ねますから、それに答えなさい。」

20:4 ヨハネのバプテスマは、天から来たのですか、人から出たのですか。」

20:5 すると彼らは、こう言って、互いに論じ合った。「もし、天から、と言えば、それならなぜ、彼を信じなかったか、と言うだろう。」

20:6 しかし、もし、人から、と言えば、民衆がみなで私たちを石で打ち殺すだろう。ヨハネを預言者と信じているのだから。」

20:7 そこで、「どこからか知りません。」と答えた。

20:8 するとイエスは、「わたしも、何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに話すまい。」と言われた。

祭司長、律法学者、長老たちは神から与えられた権威ではなく、人の作り上げた権威によって生きていました。ですからその権威を守るためには、神であるイエス様に敵対することになってしまったのです。またその権威を守るためには、真理に即した回答をすることができませんでした。「どこからかしりません。」と言うしかなかったのです。

そのような人には真理を語っても意味がありません。イエス様は「あなたがたに話すまい。」と言われました。

本当の権威は神様から与えられるものです。それ

は神様を慕いあがめ、従う人に与えられます。そのような人になりましょう。人間の権威に頼っていたり、それを用いていたことに気づいたなら、またはそれを求めていたなら、悔い改めて主の権威の前にまずはひれ伏しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

